

話し言葉と書き言葉の指導

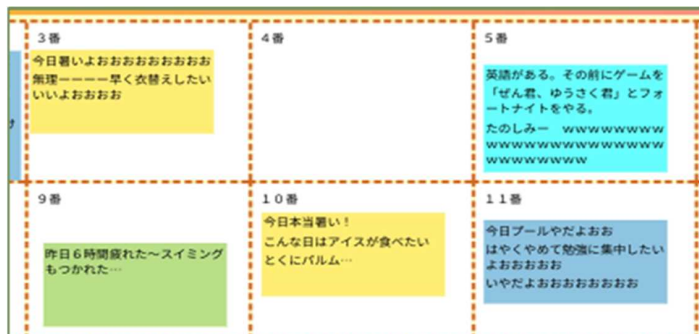
■校種・学年 : 小学校5学年以上

■活用の概要 :

オンラインで一言日記の活動を行っていたところ、徐々に日記に書かれる言葉が乱れ始めた。そこで、児童生徒自身が言葉遣いについて振り返ることができるように、国語科の学習内容と絡め、話し言葉と書き言葉についてクラスで話し合い、オンライン上のコミュニケーションにおいてふさわしい言葉の使い方について指導を行った。

■準備するもの
・コメント機能

一言日記（共同編集機能）での失敗経験



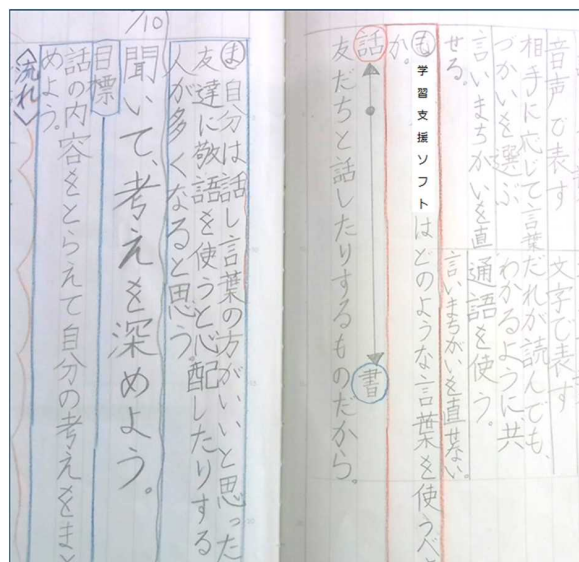
オンライン上で一言日記を書く活動を行った。何も指導をしないと「www」「ああ」「草」などの日記やコメントが書かれた。

クラスのコメント 5件

- 児童23 11月18日
2個のFormsに答えて下さい。
<https://forms.gle/w9j>
<https://forms.gle/1Yt>
- 児童21 11月18日
https://docs.google.com/presentation/d/1gJ2_RSveqCl7MIU81jf821vUfusp=sharing
音楽委員会の仕事についてです。
- 児童21 11月18日
1つ目のことなんですが、一回答えたことになっているんですが、そのformsってこの前出したformsのどですか？（さんに質問）
- 児童11 11月18日
さんと同じなんですけどまだ答えてない人がいるなら名指しで言ってもらえるとやった人たちがわかります。申し訳ないんですけど少し粉らわしいので。いつもクラスのためにありがとうございます。
- 児童23 11月18日

児童生徒が定期的に確認している時間割の掲示板に投稿されたコメント。言葉の乱れはほとんどない。

オンライン上のコミュニケーションに関する学び



国語の「話し言葉と書き言葉」の学習において、相手を意識する大切さと「誰が読んで分かるように共通語を使う」ことについて指導した。

■アドバイザーからのコメント

メディアが変わると話し言葉と書き言葉の伝わり方や印象も変わってきます。

国語の学習の中で、オンライン上における言葉の使い方や表現方法を話題に挙げながら指導をしていくことで、情報モラルとしての指導につなげています。